

一般質問

市議会のホームページで一般質問の録画が見られます



金子卓議員
9月14日に質問

東海第二原発
再稼働問題を質問

金子議員 東海第二原発は、1

978年に営業運転を開始、今年11月で38年になる老朽原発です。
東日本大震災時、東海第二原発は、非常用ディーゼル発電機用の海水ポンプ電動機が水没し運転不能となり、危うく福島原発事故のような事態に追い込まれる危険な状態でした。大震災後、県民の再稼働反対・廃炉を求める運動は大きく広がり、再稼働反対の署名は30万人に達しました。

政府は福島第一原発事故を機会に、安全上の理由から原発の寿命を法制化しました。原則40年で、20年の延長を認め、最長60年

としました。日本原子力発電は再稼働の前提となる新規制基準の適合性審査の申請をしましたが、運転開始後38年になる東海第二原発の再稼働にあたっては、運転期間の延長の審査を受けなければなりません。
県議会で東海第二原発の再稼働問題が取りあげられ、その中で、東日本大震災前の3年間で19回だったマグニチュード5以上の地震回数は、震災後153回を数え、県内で発生する地震の状況が大きく変わっていることが指摘されました。今後30年以内に首都直下地震が発生する確率は70%とも言

われています。
仮に、再稼働が認められてしまつたら、年々老朽化がすすむ東海第二原発の過酷事故の不安を抱えたまま私たち市民はさらに20年間も暮らさなければなりません。今、再稼働問題は、このような状況の中にあります。
30キロ圏内に位置する常陸大宮市として、東海第二原発の再稼働中止を、国・県・原電に求めるべきです。市長の答弁を求めます。

議員定数検討特別委員会を設置

最終日、議会運営委員長から「議会議員定数検討特別委員会」設置の提案がありました。金子議員は提出者に、定数検討特別委員会の目的に「議会の議員定数に関する調査を実施し、検討をおこなう」とあるが、検討とは「定数削減ありき」なのかそれとも「議員定数はどうあるべきか」を検討することかと質問しました。議会運営委員長は「必ずしも定数削減ありきではない」と答えました。

今後、原子力規制委員会の新規制基準適合性審査に合格するか、そして運転延長の申請をおこなうかどうかについて注意深く見守りたいと思いますが、再稼働の条件がそろつたときには運転開始から38年を超える原発であっても科学的・技術的な見地から安全であると判断されることから、最終的にその判断をもとに国の責任で再稼働すべきと考えています。

また、高い国保税の国民健康保険特別会計、介護保険料を大幅に引き上げた介護保険特別会計、簡易水道特別会計、戸別浄化槽整備特別会計、後期高齢者医療特別会計、高すぎる水道料金の上水道事業会計に反対しました。
今議会に提出された、「教育予算の拡充を求める請願」と「市道975号線早期全面開通に関する請願書」は全会一致で採択され、「教育予算の拡充を求める意見書」を内閣総理大臣ほか関係大臣に提出することを議決しました。

議会議員定数検討特別委員会(同日、第1回特別委員会を開き、委員長に秋山議員、副委員長に田沢議員を選出しました。特別委員会の委員は議長を除く議員全員(16人)です。

8月30日に開会された第3回定例議会は最終日の9月20日、各常任委員会に付託された条例改正案と補正予算案、請願・陳情の審査結果、また新たに設置された予算決算常任委員会に付託された決算認定の審査結果が本会議で報告され、採決し閉会しました。

57億円と膨大な金額に積み増ししている財政調整基金を使い、国保財政への繰り入れを増やし、また介護保険料の大幅引き上げなどなく、市民の暮らしを守るために使うべき」差し押さえ件数が毎年増加つていきます。悪質滞納者がこのよ

仕事・くらしの悩み
お気軽に相談を
日本共産党
連絡先 ケータイ
金子すぐる議員
090-1994-7696

＜日本共産党県議団提供＞
平成28年9月12日 茨城県防災・危機管理課
マグニチュード5.0以上の地震回数
【東日本大震災以降】
期間：2011年3月11日～2016年9月11日
回数 全国：638回
内震央が茨城県：153回
【東日本大震災以前】
期間：2008年3月11日～2011年3月11日
回数 全国：317回
内震央が茨城県：19回

道の駅「常陸大宮」
4～6月収支を質問

金子議員 8月16日の市議会全員協議会では、3月から7月までの月別レジ通過者数と部門別売上金額が報告されただけでした。4半期(4～6月)の収入額とその主な内訳、支出額とその主な内訳を明らかにするよう求めます。
経済建設部長答弁 道の駅「かわプラザ」全体での4月期から6月期までの販売金額は、合計で約2億4477万円です。

運営管理会社「元気な郷づくり株式会社」の収支は、収入が合計で約1億4804万円、内訳は特産品販売部門が約7489万円、レストラン等フード部門が約6031万円、テナント料等が約850万円、その他指定管理料を含む収入が約434万円です。
支出は合計で約1億4074万円、内訳は仕入れ等の原材料費等が約8420万円、従業員給与等の人件費が約3474万円、その他電気料・広告宣伝費等の一般管理費が約2180万円です。
4～6月期までの営業利益は約730万円で、月平均にすると約243万円の黒字です。

※注 8月16日に報告された部門別売上金額(消費税込4月～6月計)
…農産物(テナント・JA常陸)約8421万円、特産品(直営)約7981万円、レストラン(直営)約1628万円、軽食(直営)約1190万円、軽食(テナント・瑞穂農場)約1439万円、店頭食品(直営)約2204万円、店頭ジェラード(直営)約1614万円。
その他の質問項目
■自衛隊適格者名簿提出について
■公民館制度のあり方について
■新しい文化財保存展示施設整備について
*金子議員の一般質問全文と答弁概要をまとめた冊子が必要な方、連絡ください。